# 東筑摩塩尻PTA連合会　第３回専門委員会「講演会」　議事録

平成29年10月14日（土）
午後13：30～16：00　東筑摩塩尻教育会館　講堂
進行　古畑副会長

1.開会式（13：30～13：35）

| | |
|---|---|
| 開会の言葉 | 東筑摩塩尻PTA連合会副会長　寺澤　佳代子 |
| 会長挨拶 | 東筑摩塩尻PTA連合会　会長　川崎　透 |
| 講師紹介 | 東筑摩塩尻PTA連合会　会長　川崎　透 |

2.講話（13：35～14：55）

テーマ：～情報セキュリティー教育～
親としてのネットとのかかわり方、付き合い方
講　師：特定非営利活動法人　グループHIYOKO　吉江さん

配布資料、パワーポイントを使用し、実際に子ども達が直面しているインターネットトラブルの例を用いて、それに対して親はどのように対応すればよいか？をご講義いただきました。

今や、インターネットに繋がるのはパソコンや携帯電話だけでなく、音楽プレイヤーやタブレット、ゲーム機など様々で、子どもたちはインターネットに繋がることで遊びを行っている。実際保護者が思っている以上に子ども達のインターネット利用時間は多く、小学生で２５％、中学生で４５％、高校生で６６．８％以上が１日２時間以上インターネットを利用しているという統計が出ている。

今や大学・就職はネットで願書を取り寄せ、インターネットで提出するのが当たり前。企業側もその人の名前を検索して、悪い情報があるか調べるが、逆に何も出てこないと使いこなせないとみなされてしまう。使わせない！は時代遅れ。正しい力でうまく上手に使っていくことを育む力が求められる。

**では子ども達がインターネットでどんなトラブルに遭っていて、それをどのように対策すればよいか?ネットを安全に使う力を育むために、実際に遭ったトラブルを知って子どもと一緒に考える。**

**1、スマホの過度な使用による日常生活への支障（ネット依存）**

子どもは友達から連絡が来ると、それを返さなくてはいけないと思ってしまい、いつまでもやめられない。優しい子ほどやめることができない。そのため夜更かしになってしまったり日常生活に支障が出てきてしまう。

⇒子どもは自分からやめることはなかなかできないもの。親が「お父さんが言ってるからやめるね」「お母さんに怒られるからやめるね」など、親のせいにしていいからやめる理由にしなさいと言ってあげる。

**2、言葉のニュアンスで誤解を招き、いじめなどに発展**

文章だけのやり取りのため、相手の表情や言葉のニュアンスが読めないため、誤解を招いてしまう。例:「あの子おもしろくない？（つまらない）」「あの子おもしろくない？（おもしろいよね）」

⇒文字だけの会話だが、日ごろからそういった関係にならない雰囲気づくりをする。誤解を招いたらその時にすぐに訂正することが重要。

**3、SNS での迷惑行為や誹謗中傷、なりすまし**

ほんのちょっと面白半分に書き込んだことが、逆にその気はなくてなんとなく書き込んだことが大問題になる。また、子どもは判断力が低いので、悪い人に引っかかったり誤解を生じやすい。

⇒経験や年数で大人はこのくらいという事がわかるが、子どもにはそれは無理。また、ネットの相手が本当に良い人か?悪い人か?判断することは子どもにはできないので、何かあった時に誰かに相談できれば良いが、大人がいち早く察知して、怒らずに対処してあげることが大切。

**4、写真の怖さ**

名前は伏せてアップした写真でも、見る人が見れば位置や時間がばれてしまっている。旅行の写真を見られて空き巣に入られたり、家や行動範囲が知られてしまう。ピース写真から指紋を取られてしまうケースも…。

⇒カメラにも設定があるので、まずはカメラの設定を位置情報が出ないものにする。SNS も公開範囲をきちんと設定する。個人情報は自分が気を付けていても、友達が何気なく悪気なく広めてしまっていることもある。時々チェックをして、自分の子だけでなく周りの子も広い目で見てあげてほしい。仲間内だけと思っていても、いろんな所につながっている。その情報はいろんなところにつながっていることを、子どもたちに伝えてほしい。

**5、ID・パスワード**

現在、ID やパスワードはちょっとした会員登録などにも必要だが、パスワードの使いまわしや組み合わせを変えるだけの使用方法では、重要なパスワードを知られてしまう可能性がある。

⇒パスワードの使いまわしや想像がつきやすい設定は、重要なものには使用しない。（ネットバンキングなど）

**6、ゲームの怖さ**

ゲームで課金し、高額請求されてしまう。

⇒最初は無料でもその一歩先に行くには有料というアプリは危険。今は、コンビニでプリペイドカードが手ごろな価格で買えてしまうため、子どもでも手が出しやすい。また、簡単にクレジットカードの番号を入れるだけで簡単に決済されてしまうため、親のお金を使っている感覚がなく高額になってしまうことも。インターネットを通じて遊ぶ相手は大人かもしれない。金銭感覚が大人と子どもとでは違うので、大人が多額に課金しているのを見ると麻痺してしまう。そのことを大人もよく理解することが大切。

**子どもを被害者にも加害者にもさせない方法。**

- 「インターネットの先には世界が広がっている」「良い人も悪い人もいる」「世界につながっている」という事を子どもたちに伝える。
- インターネットを使う時は、個人情報を使わない。一度でもインターネットで発したことは消せない・取り返せないので設定方法・リスクをよく知る。
- 子どもには『安全フィルター』を使う。これを使うことでひとまず安心（正しい設定方法は機種によって違うので、「安心ネットづくり促進協会」のサイトを参考にして設定する。

休憩・会場レイアウト変更（15 分間）

3. グループワーク（15：10～15：40）
　＊内容は、グループワーク議事録参照
　アンケート用紙記入

4. グループ発表（15：40～15：55）
　＊内容は、グループワーク議事録参照

5. 閉会式

| | |
|---|---|
| 会長挨拶 | 東筑摩塩尻 PTA 連合会　会長　川崎　透 |
| 閉会の言葉 | 東筑摩塩尻 PTA 連合会副会長　寺澤　佳代子 |